



♪心ひとつに ハーモニー♪

10月2日（木）、3・4年生が市内音楽発表会に参加しました。当日は緊張しながらも、精一杯歌ってきました。披露した曲は、平館ゆかりの江間章子さん作詞の

「夏の思い出」「あしたははれる」の2曲です。2学期に入ってから、音楽の時間を使って練習に取り組みました。一人一人が声を合わせることを目指して努力を重ねてきました。その成果を安代小学校で存分に発揮することができました。講評では、



【心を込めて歌う子ども達】

「夏の思い出」は、柔らかくて優しい歌声で歌っていたこと。「あしたははれる」は、リズムがとりにくい曲でも指揮をよく見て丁寧に歌っていたとの評価を受けました。何より、子ども達の耳や心には、友達と合わせた音の心地よさが残ったことでしょう。「誰かと合わせること」その素晴らしさを学んだことと思います。



【心を込めて歌う子ども達】



読書のすすめ

八幡平市家庭学習通信No.9は「読書」についてでしたが、お読みになったでしょうか。読書で「考える力」「伝える力」「感じる力」が育つと書いてありました。この力は、本校で目指す資質・能力に通じるものがあります。「考える力」について少し考えてみたいと思います。文字を読むことによって考えている、とは違うと思っています。もちろんそういった側面もあるとは思いますが、読んだ内容から文章の前の部分を思い出したり、その後のことを想像したりすることが繰り返されていると思います。これがなければただ文字を見ているだけとかわらないと思います。このような読みでは、読んだことを「伝える力」や主人公や周りの様子について「感じる力」も育たないのではないのでしょうか。ただ、この「考える」ためには集中力が必要です。一般に集中力は15分が限界ともいわれます。ある脳波測定によると、注意持続時間がわずか8秒というデータもあるほどです。衝撃的ではありませんか。TikTokやYouTubeなど短時間で興味を引き、結末までわかる生活に浸っている現代人では、仕方のないことかもしれません。しかしながら、子ども達にとって読書を通して集中力も養うことができるなら、読書はどれほどの価値ある習慣となるか今一度考えたいところです。

学校公開研究会 つきたい力をつけるために！

10月8日（水）八幡平市教育委員会の指定を受け、学校公開研究会を行いました。保護者の皆様8名の方々には、駐車場、受付、接待と係の仕事を引き受けていただき大変ありがとうございました。感謝申し上げます。

学校公開研究会では、1・2年生は道徳科、3～6年生は総合的な学習の時間の学習を参観いただきました。生活科や社会、国語などをつないで総合的な学習とのかかわりをもたせています。まち歩きや福祉体験、修学旅行、防災教育とのかかわりといった具合です。それぞれの知識を深めたり、つなげたりする中で地域や八幡平市、そこに暮らす人々などに触れながら、なりたい自分に近づいていけるような学習を展開しています。このような学習活動を展開できるのも、学校運営協議会をはじめとして、地域の皆様や関係機関からのご支援によるところが大きいです。

子ども達につきたい力として今年度は、保護者の皆様からも意見の多かった中で特に、問題を解決する力と困難にも負けない力を育てるため、人や物とのかかわりや難しいことでも解決に向かおうとするなかで身につけられるようにしてきました。その途中経過が公開当日の学習でした。

公開当日それぞれの学年が考えたことを活かして、11月1日（土）150周年記念学習成果発表会にて発表する活動につながっています。保護者の皆様には、学習成果発表会にて子ども達の考えが深まっていることを是非ともご覧いただきたいと考えております。発表会後は、記念式典も開催いたしますのでぜひともご参列ください。



記念事業推進中

150周年記念事業が、着々と進んでいます。まず、資料室のリニューアルが完了しました。資料整理部の皆様が幾度も足を運び、素敵な部屋となりました。学校公開研究会に間に合わせていただき、ご来賓を始め、多くの参会者の皆様から絶賛されました。保護者の皆様には、11月1日（土）のご来校時、是非ともお立ち寄りください。また、地域の皆様におかれましても、いつでもご来校いただきお立ち寄りください。次に、記念事業部の皆様が企画してくださっている県警音楽隊の演奏会です。調整が最終段階に入っています。記念誌編集部では、膨大な数から写真選びに大変な時間を費やしてレイアウトを進めてくださっています。どの部においても、本当に熱心に活動をしていただき、頭の下がる思いです。これまでのご労苦に感謝申し上げます。



【資料室の様子】

ある日の出来事から

- ☆ 音楽発表会の校内発表を兼ねた児童集会の時のことです。3・4年生のきれいなハーモニはもちろんです、さらに心を打つことができました。感想発表を募ったところ、2年生1名、5・6年生が全員起立したのです。初めに執行部が話した後、2年生と5・6年生全員が3・4年生の発表のよかったところや心に残ったこと、改善点まで全員が自分の言葉で話したのです。あまりの素晴らしい光景に、児童会長に「何か話したりしたの？」と聞くと、5・6年生が事前に「3・4年生のためにできるだけ感想を言おう。」と呼びかけたのだそうです。呼びかけた執行部の気持ちと、その呼びかけに答えた子ども達に感動しました。思わず目頭が熱くなった瞬間でした。